

1. 実施機関名

国立大学法人東京農工大学

2. 企画名

美しい地球を持続させる「グローバルイノベーション科学技術者養成プログラム (GIYSE)」(Global Innovation program for Young Scientists and Engineers.)

3. 総合評価コメント

企画の目標をおおむね達成し、一定の成果が得られたと評価する。

受講生の募集に関して、これまでの高大連携活動で協力を得た高校教員に対して個別に案内を行うなど、効果的な広報活動に取り組むことで、募集定員の4倍以上の応募者を集めた点は評価できる。クラスステージの取組において、e-learningの活用、農学講義、オンラインでの実験・実習等に特色と様々な工夫が見られる。国際性の付与では、東南アジアの留学生をTAとして起用し、多様な観点から受講生の国際性を醸成させている。また、ラボステージの受講生が安心して研究活動に取り組めるよう、受講生の所属する高校と連携協定を締結している。第二段階受講生の研究成果発表の機会として、GSCを実施する4機関による合同発表会を主催している点も良い。

一方、受講生が創出する成果について、受講生の研究成果を対外的な発表等に繋げるための工夫が望まれる。受講生を配属する研究室との連携体制を強化するとともに、受講生の能力伸長評価や育成プログラムの効果検証を行うことで、受講生をよりステップアップさせていくことが期待される。

今後、全学的な実施体制の整備に加え、民間企業等の多様な外部機関との連携を引き続き検討し、育成プログラムの更なる開発や受講生の研究活動支援など、発展した取組として継続されていくことを期待する。